

施策評価シート

施策等名称	親育ちの推進	体系番号	0201010110
		主管課	こども課

1 施策基本情報

現状と課題	親の子育てに対する価値観の多様化や、地域でのつながりの希薄化などを背景に、子育てに対する意識が大きく変化しています。親が親となるための環境づくりを推進します。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	子どもから大人までともに成長できるような学びの機会と、子どもの育ちや子育てに焦点を当てた地域づくりを推進します。

		指標名称		指標の説明(単位)		計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値		
施策指標	①	一日保育士体験参加率(父親)の増	参加保護者/入所児童保護者(%)			40.00	50.00	50.00		
	②	一日保育士体験参加率(母親)の増	参加保護者/入所児童保護者(%)			70.00	80.00	80.00		
	③									
施策の体系	施策の柱1	名称	親育ちを支える環境づくりの推進			主管課	こども課			
		詳細	時代の変化はあっても、子育てを経験する中で、親が親として成長することには変わりはありません。親が子どもとともに成長できるよう、妊娠時から全ての年代の子どもの成長に合わせた講演会等、様々な機会の提供と活用を行いながら、親育ちを推進します。							
			まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分
		1	一日保育士体験参加率(父親)の増	参加保護者/入所児童保護者(%)	40.00	50.00	1	親支援推進事業	実施	
						50.00	2	保育所運営事業	実施	
		2	一日保育士体験参加率(母親)の増	参加保護者/入所児童保護者(%)	70.00	80.00	3	家庭教育センター運営事業	実施	
						80.00	4			
		3					5			
							6			
		基本政策間連携								
	施策の柱2	名称				主管課				
		詳細								
			まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分
		1					1			
							2			
		2					3			
							4			
		3					5			
							6			
		基本政策間連携								
施策の柱3	名称				主管課					
	詳細									
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分	
	1					1				
						2				
	2					3				
						4				
	3					5				
						6				
	基本政策間連携									

2 指標等の推移と変動要因

2 指標等の推移と変動要因

体系区分		成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
指標No.			中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)					
施策		一日保育士体験参加率(父親)の増	40.00	26.00	24.00	20.80	13.50	14.10	20.80
1			50.00	52.00	48.00	41.60	27.00	28.20	41.60
変動要因等	2018年度	計画策定時数には及ばないが、前年度の実績値と比較するとほぼ同じ数値となっている。							
	2019年度	前年に比べ若干減となったが、原因としては例年参加者の多い3月に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加受入を停止したためである。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間受入を停止したことによる減。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間受入を停止したことによる減。							
	2022年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間受入を停止したが、前年より受入れ期間が増えたことによる増。							
	2023年度	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、保護者が参加しやすくなったことにより参加者が増加したと考える。							
施策		一日保育士体験参加率(母親)の増	70.00	59.00	50.80	50.90	31.10	36.20	46.80
2			80.00	73.75	63.50	63.63	38.88	45.25	58.50
変動要因等	2018年度	計画策定時数には及ばないが、前年度の実績値と比較するとほぼ同じ数値となっている。							
	2019年度	前年に比べ若干減となったが、原因としては例年参加者の多い3月に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加受入を停止したためである。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間受入を停止したことによる減。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間受入を停止したことによる減。							
	2022年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間受入を停止したが、前年より受入れ期間が増えたことによる増。							
	2023年度	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、保護者が参加しやすくなったことにより参加者が増加したと考える。							
柱1		一日保育士体験参加率(父親)の増	40.00	26.00	24.00	20.80	13.50	14.10	20.80
1			50.00	52.00	48.00	41.60	27.00	28.20	41.60
変動要因等	2018年度	計画策定時数には及ばないが、前年度の実績値と比較するとほぼ同じ数値となっている。							
	2019年度	前年に比べ若干減となったが、原因としては例年参加者の多い3月に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加受入を停止したためである。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間受入を停止したことによる減。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間受入を停止したことによる減。							
	2022年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間受入を停止したが、前年より受入れ期間が増えたことによる増。							
	2023年度	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、保護者が参加しやすくなったことにより参加者が増加したと考える。							
柱1		一日保育士体験参加率(母親)の増	70.00	59.00	50.80	50.90	31.10	36.20	46.80
2			80.00	73.75	63.50	63.63	38.88	45.25	58.50
変動要因等	2018年度	計画策定時数には及ばないが、前年度の実績値と比較するとほぼ同じ数値となっている。							
	2019年度	前年に比べ若干減となったが、原因としては例年参加者の多い3月に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加受入を停止したためである。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間受入を停止したことによる減。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間受入を停止したことによる減。							
	2022年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間受入を停止したが、前年より受入れ期間が増えたことによる増。							
	2023年度	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、保護者が参加しやすくなったことにより参加者が増加したと考える。							

施策等名称	親育ちの推進					体系番号	0201010110	
						主管課	こども課	

3 評価・改革改善

(単位:円)

評価	項目		2018年（前年度比）		2019年（前年度比）		2020年（前年度比）		2021年（前年度比）		2022年（前年度比）		2018年～2023年（総括）	
	投資額	事業費(円)	572,173,010		10,104,822	0.02	7,128,319	0.71	5,384,139	0.76	2,668,831	0.50	851,183	0.32
		うち一財(円)	509,204,645		4,666,422	0.01	2,221,819	0.48	2,492,000	1.12	2,668,831	1.07	851,183	0.32
		増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)			一日保育士体験は、0予算事業であり、昨年まで計上していた「保育所運営事業費」は他施策において計上しているため、この事業費からは除くこととしたため。		新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、親支援プログラム講座や各種講座が中止又は規模縮小になり事業費が減少したため。		新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、親支援プログラム講座、各種講座が中止又は規模縮小になり事業費が減少したため。		家庭教育センターでの相談事業が「育ちあいの」に統合され、相談員報酬が皆減になったので、国県補助対象経費がなくなったため。		家庭教育センターで実施していた子育てに関する講座の実施主体が0123広場に移行になり事業費が減少したため。	
総合評価	進捗評価		順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		やや遅れている	
	主な取組内容や成果		一日保育士体験の実施及び親支援プログラム講座や各種講座の開催。一日保育士体験は、親の子育てを見直すきっかけとなり、保育に対する理解の向上につながっている。また、各種講座、子育て・教育等の相談を実施し、親の育児不安やストレスの解消に繋がっている。		一日保育士体験の実施及び親支援プログラム講座や各種講座の開催。一日保育士体験は、親自身の子育てを見直すきっかけとなり、保育に対する理解の向上につながっている。また、各種講座、子育て・教育等の相談を実施し、親の育児不安やストレスの解消に繋がっている。		一日保育士体験実施及び親支援講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止や講座の規模縮小を行い開催した。一日保育士体験は、親自身の子育てを見直すきっかけとなり、保育に対する理解の向上につながっている。また、講座は親の育児不安やストレスの解消に繋がっている。		一日保育士体験及び親支援講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間停止又は中止した。一日保育士体験は、親自身の子育てを見直すきっかけとなり、保育に対する理解の向上に繋がっている。		(R4・総括評価共通)一日保育士体験及び親支援講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間停止又は中止したが、一日保育士体験は、昨年度より受入れ期間が増えたため参加率は微増し、親自身の子育てを見直すきっかけとなり、保育に対する理解の向上に繋がっている。講座は親の育児不安やストレスの解消に繋がっている。		新型コロナウイルス感染症が5類になり、参加者が増加した。一日保育士体験に参加することで、子どもとの関わりを見直すきっかけとなり、子育ての楽しさや、保護者と保育士との信頼関係にも繋がっている。また、講座は親の育児不安やストレスの解消に繋がっている。	
		課題	一日保育士体験への父親の参加が少ない。また、各種講座への参加者が減少傾向にある。		一日保育士体験への父親の参加が少ない。また、各種講座への参加者が減少傾向にある。		一日保育士体験への父親の参加が少ない。また、各種講座への参加者が減少傾向にある中、コロナ禍により更に参加者が減っている状況である。		一日保育士体験への父親の参加が少ない。また、各種講座への参加者が減少傾向にある中、コロナ禍により更に参加者が減っている状況である。		(R4・総括評価共通)一日保育士体験への父親の参加が少ない。また、各種講座への参加者が減少傾向にある中、PR方法の検討が必要である。		一日保育士体験への父親の参加人数が少ない。また、各種講座への参加者が減少傾向にある中、PR方法の検討が必要である。	
改革・改善	改革・改善内容		乳幼児健診などの機会を捉えて、講座への参加を促すと共に、内容のわかり易い広報等を行う。講座参加者が相互にアドバイスやサポートをし合う関係づくりができるような機会を提供する。		乳幼児健診などの機会を捉えて、特に必要と感じられる親へは講座への参加を促すと共に、講座内容のわかり易い広報等を行う。各種講座へ参加した者同士が、顔見知りとなり相互にアドバイスやサポートをし合う関係づくりができるような機会を提供する。		乳幼児健診やこども館にきている親に声をかけるなど、機会を捉えて、講座への参加を促すと共に、講座内容のわかり易い広報や一日保育士体験の良さを積極的に伝える。講座へ参加した者同士が、顔見知りとなりアドバイスやサポートをし合う関係づくりができるような機会を提供する。		乳幼児健診やこども館にきている親に声をかけるなど、機会を捉えて、講座への参加を促すと共に、講座内容のわかり易い広報や一日保育士体験の良さを積極的にPRする。講座へ参加した者同士が、顔見知りとなりアドバイスやサポートをし合う関係づくりができるような機会を提供する。		乳幼児健診やこども館にきている親に声をかけるなど、機会を捉えて、講座への参加を促すと共に、講座内容のわかり易い広報や一日保育士体験の良さを積極的にPRする。講座へ参加した者同士が、顔見知りとなりアドバイスやサポートをし合う関係づくりができるような機会を提供する。		子育てに関する講座の実施主体が、家庭教育センターから0123広場に移行したことにより、こども館にきている親への声かけが多くなる体制ができた。講座内容のわかりやすい広報や一日保育士体験の良さを積極的にPRする。講座へ参加した者同士が、顔見知りとなりアドバイスやサポートをし合う関係づくりができるような機会を提供する。	
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1		1		1		1		1		1	
		重点事業	2		2		2		2		2		2	
理由			親が自分の長所に気づき自信を持って子育てをしていくために、その方法を学ぶ親支援講座の実施は必要であり、各種講座への参加は、参加した親同士がお互いにアドバイスやサポートをし合える関係づくりの機会を提供できる。		自信を持って子育てをしていくために、親が悩んでいることや関心のあることなどを出し合い、その方法を学ぶ親支援講座の実施は必要であり、各種講座への参加は、参加した親同士がお互いにアドバイスやサポートをし合える関係づくりの機会を提供できる。		自信を持って子育てをしていくために、親が悩んでいることや関心のあることなどを出し合い、その方法を学ぶ親支援講座の実施は必要であり、各種講座への参加は、参加した親同士がお互いにアドバイスやサポートをし合える関係づくりの機会を提供できる。		親が自信を持って子育てをしていくために、その方法を学ぶ親支援講座の実施は必要であり、講座への参加者は、親同士がお互いにアドバイスやサポートをし合える関係づくりの機会を提供できる。		親が自信を持って子育てをしていくために、その方法を学ぶ親支援講座の実施は必要であり、講座への参加者は、親同士がお互いにアドバイスやサポートをし合える関係づくりの機会を提供できる。		親が自信を持って子育てをしていくために、その方法を学ぶ親支援講座の実施は必要であり、講座への参加者は、親同士がお互いにアドバイスやサポートをし合える関係づくりの機会を提供できる。	

作成担当者	熊谷 壽美子	熊谷 壽美子	両角 和恵	両角 和恵	両角 和恵	両角 和恵
最終評価責任者	有賀 淳一	有賀 淳一	有賀 淳一	五味 留美子	五味 正	五味 正
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日	2021年5月28日	2022年5月31日	2023年10月19日	2024年7月5日